

# 中建協会広報

発行所  
一般社団法人秋田中央建設業協会  
発行人

田 中 道

〒010-0951秋田市山王4丁目3番7号  
TEL 018-862-7778  
akenkyo@akenkyo.or.jp

秋田中央建設業協会 検索

## 「合同安全パトロール」実施

秋田労働基準監督署・秋田地域振興局建設部・秋田地域振興局農林部・秋田中央建設業協会

令和2年度建設労働災害防止のための合同安全パトロールが11月17日(火)、秋田労働基準監督署2名、県関係10名、県建設・工業技術センター6名、当協会から工事・技術委員長始め23名、当日該当の各現場代理人2名合わせて43名が参加して実施されました。

パトロールに先立ち、当協会前において、秋田地域振興局建設部佐藤主査から日程及びパトロール概要の説明後、午後1時10分に2台のバスに分乗して出発しました。

安全パトロールは、次の2工事について実施されました。

- ①県単河川改良工事(秋田市)：(株)板橋組
- ②地方道路等整備工事(秋田市)：伊藤工業(株)

現場パトロール実施後、協会に戻り、午後3時20分から当協会会議室において、はじめに秋田地域振興局の武藤秀男建設部長並びに当協会菅原廣悦工事・技術委員長から、現在新型コロナウイルス感染が急拡大中であり、インフルエンザとの同時流行が懸念されていること、各個人が新型コロナウイルス感染対策をしつつ、本日の安全パトロール結果を参考に



労働災害防止に尽力願いたいことなどの挨拶の後、4班に分かれて各工事について意見交換を行い、各班の代表が良かった点や検討すべき点について発表を行いました。そのうち主な良かった点は、各現場とも整理整頓がなされていたこと、救命用具の設置がされていたことなど。また検討すべき点は、転落防止バリケードに重しがあったら良かったこと、新型コロナウイルス感染対策の表記が看板があれば良かった等の指摘がありました。



次いで、秋田労働基準監督署の北原労働基準監督官から、講評として作業階段単管パイプにキャップが設置されていて良かったこと、通路敷き鉄板に路肩表示白線があり良かったこと、水位上昇危険表示が工夫されていて良かったこと、河川下流側の作業箇所にも連絡通路があった方が良かったこと等細かく指導をいただきました。

また、講評後には、秋田県の今年度の労働災害発生状況、最近の労働安全衛生についての指導事項等の説明があり、一層の労働災害防止対策を強化頂きたい旨の説明がありました。

以上の内容で午後4時50分全日程を終了しました。



# 金足農業高校生のインターンシップを実施

去る11月9日(月)～20日(金)の期間の9日間にわたって金足農業高校生によるインターンシップが実施されました。

この度のインターンシップは、金足農業高校が「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の採択校となり、地域の産業界等との連携・協働による実践的な職業教育を推進することを目的として行われるもので、9日間の長期間ということもあり、4名の生徒さんを8会員企業で4日と5日に分けて受入れる形で実施しました。

今回は、株式会社菅与組さんと株式会社加藤建設さんで行われた実習の様子の一部をご紹介します。

株式会社菅与組さんの実習の参加者は金足農業高校2年環境土木科の佐藤空君で、1日目は浜井川地区湛水防除工事の現場見学、2,3日目は馬踏川河川改修工事の測量補助、4日目は浜井川地区の現場で測量補助、5日目は月例安全パトロールに参加しました。



株式会社加藤建設さんの実習では、同校2年同科の小林銀河君が参加し、1日目は社内でオリエンテーション、2,3日目は太平川才八橋の現場で測量実習、4,5日目は向浜浚渫工事の現場で船に乗って海上工事の特異性や安全について学びました。



2人の生徒さんからは「建設業は3Kなどのマイナスのイメージがあるけれども、それ以上に地図に残る誇れる仕事だと思う」「今の建設業はIT化が進んでいてとても便利になっている。卒業後は建設業に就いて頑張りたい」などの感想が聞かれました。

生徒さんたちは9日間という長丁場で大変だったかと思いますが、会社内や現場の雰囲気じっくり触れることができ、建設業への理解がより深まったのではないのでしょうか。

今後、地元の建設業界でその若い力をぜひ発揮していただきたいと思います。

株式会社菅与組、株式会社加藤建設の関係者の皆様、お忙しいなか取材にご協力いただきありがとうございました。



# 秋田中央地区建設技術推進協議会(産学官)技術研修会

秋田中央地区建設技術推進協議会（秋田地域振興局建設部・秋田大学・秋田中央建設業協会）主催の『技術研修会』が11月4日(水)午後2時から市町村会館大会議室において開催され、65名が参加しました。

武藤秀男会長（秋田地域振興局建設部部长）から開会にあたって、「品確法改正による担い手育成や生産性向上のためには、建設産業の知識や経験を重ねることが重要であり、この研修会が有意義となるように期待している」との挨拶に続き、お二人の講師による講演が行われました。

はじめに、秋田大学の高橋良輔准教授から「構造物の生産向上、作業効率化」について、建設業の生産性向上が他分野から遅れている実態を踏まえ、情報技術や新技術及び新材料の導入に向けて、産・学・官が一体となり取り組む必要があること、特にコンクリート構造物については、配筋・コンクリート打設・プレキャスト化による効率化及びデジタル化の推進のために、デジタル世代の新たな価値観（若い人の力）が必要であるとのお話がありました。

次に、国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所、岡部武彦事業対策官から「i-Constructionに関する最近の話題」について、ICT施工の概要や令和2年度の取り組み状況、その他の話題とし

て、働き方改革の推進や生産性の向上について講演していただきました。

また、高橋良輔秋田大学准教授からは「秋田の建設の未来に向けて、産学官がより一層連携していく必要があり、本会のような組織・講習が重要である」との講評があり、午後5時に終了となりました。



## 理事会・委員会

### ◎ 理事会

11月26日(木)午後3時30分から秋田ビューホテルにおいて第4回理事会を開催し、次の事項について審議した結果、原案どおり承認されました。

#### 議 題

1. 秋田県議会中央地区選出議員への要望について
2. 協会行事予定について

(加藤会長、齊藤・長谷川副会長、沢木・平野・菅原(廣)・伊藤(満)・加藤(正)・石塚・珍田・菅原(孝)理事、加藤(政)・伊藤(久)監事)

## 中田潤氏褒章受章

令和2年秋の褒章受章者が発表され、中田潤氏（73）（中田建設(株)社長・当協会会員）に地方自治に寄与した功績で旭日双光章が贈られました。





# 秋田県建設雇用・構造改善推進大会

11月12日(木)秋田市「秋田ビューホテル」において「令和2年度秋田県建設雇用・構造改善推進大会」が開催され、当協会から次のとおり表彰されました。

- ▽ 国土交通大臣顕彰 優秀施工者  
山岡工業株式会社 館岡 利喜 氏
- ▽ 秋田県知事表彰 優秀現場従事者  
株式会社 菅与組 菊地 旭 氏



## 建設業年末年始労働災害防止強調期間

令和2年12月1日～令和3年1月15日

本年度の建設業年末年始労働災害防止強調期間は、建設業労働災害防止協会が主唱して、本年12月1日から令和3年1月15日まで、

「無事故の歳末 明るい正月」

のローグンのもとに展開されます。



秋田中央地区の建設業の労働災害は、会員をはじめとする関係者のたゆまぬ努力により、減少を続けてきており、10月末現在の災害統計では建設業の死亡事故がゼロとなっております。

しかしながら、これから迎える冬期には凍結や降雪に伴う労働災害や事故が増加することも考えられます。秋田の冬は気候条件が厳しく、例年寒さや雪の影響による災害が発生しており、今後とも気象条件を加味した十分な災害防止対策を講ずる必要があります。

さらに、年末年始には工事が輻輳することもあるため、労働災害の多発が危惧される所です。

このような状況を踏まえ労働災害防止活動の一層の強化に取り組むとともに、現場でのリスクアセスメントの確実な実施と、より快適な職場形成を目指して改訂された「建設業労働安全衛生マネジメントシステム」(ニューコスモス)の導入・運用を図ると共に、働く人の健康の保持・増進に向けて、健康KYやストレスチェックなどの現場のメンタルヘルス対策にも積極的に努められるようお願いいたします。

